

### 中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 創傷難治化予知・予防スマートドレッシング
2. 研究代表者： 仲上 豪二郎（東京大学 大学院医学系研究科老年看護学／創傷看護学分野 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

「難治性創傷」の発症メカニズムは不明なため、予防が困難である。本課題は、創傷治癒を促進または遅延させる成分は創傷から産生される滲出液に含まれることに着目し、滲出液のマルチオミックス解析により難治化の原因因子を特定することを目的としている。さらに、その濃度をモニタリングして、難治化を防ぐための最適な治療を自動的に開始するスマートドレッシングを開発することにより、難治性創傷の根絶を目指す。フェーズ 1 では、創傷治癒のバイオマーカーを特定し、生細胞を回収し解析するシステムを確立し、さらに振動刺激の意義を明確に示せたことは評価できる。フェーズ 2 では、振動刺激による創傷治癒促進の分子機序の解明に着実に取り組むとともに、他の研究に対する優位性を明確に示すことを期待する。

以上